

- ◆ 2000年にWHOが「健康寿命」を提唱して以来、いかに健康に生活できる期間を伸ばすかに大きな関心⇒**疾患横断的予防の必要性**
- ◆ 研究情報の電子的に収集可能なシステム構築  
⇒**対象者・研究者の負担軽減と医療等ID導入後に備える**
- ◆ 既存の調査では調査対象以外の疾患の罹患情報は集積できないため、調査対象者の健康状態の把握には一定の限界が存在⇒**研究リソースを統合、連携した解析**

単一疾患予防にとどまらない、  
**健康寿命延伸の要因の解明**  
に向けた  
6NC研究連携基盤の構築。

**6NC社会医学研究者の  
強固な  
連携体制基盤**

**①電子的に収集可能なシステム（EDC：Electronic Data Capture）を構築**

入力者の負担軽減による回答率の向上、医療等IDの導入に向けたシステム整備。

**②既存のコホート研究を集約化し、広く利用可能な研究情報システムの構築**

本研究情報基盤を活用した横断的疾患予防のためのエビデンス構築やガイドライン策定、医療経済的評価などの研究を促進する。